

経営計画マネジメント委員会
令和4年3月7日 決定

第6期中期経営計画

【計画期間 令和4年度～令和6年度】

福島県道路公社

福島県道路公社 第6期中期経営計画

I はじめに

1 計画策定の趣旨

福島県道路公社は、有料道路の建設と管理を総合的かつ効率的に行う機関として、地方道路公社法に基づき、昭和46年6月1日に設立され、福島県の道路整備計画推進の一翼を担ってきた。

当社の中期経営計画は、経営改善の取り組みを計画的に行い、有料道路の安全・安心を確保し、経営の安定化を図るため、平成18年9月に第1期計画（平成18～20年度）、第2期計画（平成21～23年度）、さらに、第3期計画（平成25～27年度）、第4期計画（平成28～30年度）、第5期計画（令和元～令和3年度）を策定し、経営の改善と効率化に努めてきた。

本計画は、引き続き今後3年間の経営方針と目標及びその実現に向けた取り組みについて策定するものである。

2 計画の期間

令和4年度から令和6年度までの3年間とする。

II 当社の現状

1 有料道路事業

(R4.4.1現在)

路線名	延長 (km)	建設事業費 (億円)	料金徴収期間	料 金 (普通車)
福島空港道路 (あぶくま高原道路)	6.6	31.6	H13.3.27 ～R13.3.26 (30年)	310円

2 有料駐車場事業

(R4.4.1現在)

駐車場名	駐車可能台数	営業開始日	料 金
あづま陸橋有料駐車場	71台	S48.10.1	7,700円
平跨線橋有料駐車場	20台	H7.7.1	8,800円
日吉跨線橋有料駐車場	34台	H7.7.1	5,500円
昭和大橋有料駐車場	46台	H7.7.1	3,300円
新白河有料駐車場	41台	H10.7.1	5,500円
荒町有料駐車場	56台	H21.4.1	13,610円
合 計	268台		

3 道路管理受託事業

(R4. 4. 1 現在)

道路名等	委託元	受託区間	受託業務内	受託期間
あぶくま高原道路	福島県	あぶくま高原道路 矢吹 IC～矢吹中央 IC 間 玉川 IC～福島空港 IC 間	維持管理業務 (L=8.6km)	H13～

Ⅲ 経営方針

当社の有料道路や有料駐車場事業の管理運営にあたっては、基本理念である「安全で安心な有料道路等の提供」を承継し、これらを実現するため「安全・安心・快適な道路環境等の確保」を基本方針に掲げ、役職員全員が個々の責務を深く自覚し、利用者から満足の得られる有料道路等の提供と経営の効率化に努める。

【基本理念：安全で安心な有料道路等の提供】

○基本方針

「安全・安心・快適な道路環境等の確保」

役職員全員が常に安全意識を再認識し、通行の安全を確保し、利用者が安心して快適に通行できる道路環境等を提供するとともに、有料道路等の利用者から満足が得られるよう、適時、的確な情報の提供やサービスに努める。

1 有料道路事業等の推進

有料道路や有料駐車場の管理・運営を計画的かつ適切に行うことにより、交通の円滑化を図るとともに、安全・安心・快適な道路環境等の確保と、サービスの提供に努め、地域住民の福祉の向上と地域産業の発展に寄与する。

2 公社経営の効率化

有料道路や有料駐車場の利用促進を積極的に推進し、料金収入の増加を図るとともに、効率的な運営と事務経費の節減等に努め、公社経営の効率化を図る。

IV 経営目標

1 有料道路事業

福島空港道路における通行台数については、前期計画期間の後半において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や国による市町村除染土壌運搬作業の終了に伴い、大幅な減少となった。

このため、前期までの数値目標を見直し、令和4年度は令和3年9月以前の直近12ヶ月間（R2.10～R3.9）の有料通行台数から除染土壌運搬車両の通行台数を除いた台数とし、令和5年度は新型コロナウイルス感染症拡大直前の令和元年度と同程度の通行台数を見込み、令和6年度は令和5年度の1.0%増を目標値とし、利用者の安全・安心を確保するとともに、安全で快適に通行できる道路環境を提供し利用の促進を図る。

○福島空港道路の数値目標

	令和3年度 (見込)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1日当たりの通行台数	1,236台	1,118台	1,499台	1,513台
年間通行台数	451,297台	408,200台	547,100台	552,200台
年間料金収入	155,058千円	128,199千円	176,200千円	178,000千円

(※R3(見込)数値は、令和3年度補正予算による数値である。)

V 主な施策及び具体的取組

I 有料道路事業

福島空港道路

1 有料道路の利用促進

(1) 地域と連携したPR活動の展開と新規利用者の開拓

県及び沿線地域の各市町村、関係団体と連携し、地域イベント等への積極的な参加やホームページによる効果的な情報の提供を行うとともに、利用促進キャンペーンの実施による有料道路利用者の一層の拡大を図る。

— <具体的な取組> —

- ① 沿線地域で開催される産業祭や北関東圏で開催されるイベント等でのPR活動の実施
- ② スマートホンやPCから見やすいホームページへの更新等による利用効果や回数券利用のPR、沿線地域イベント情報等の発信
- ③ 沿線地域の道の駅、空港、観光施設等の指定施設利用者を対象とした、有料道路利用促進キャンペーンの実施
- ④ 料金ブースにおける沿線地域観光情報パンフレット等の配布

2 利用者の安全・安心の確保

(1) 道路施設等の計画的な維持管理

平成13年3月の開通以来21年が経過し、各種施設の修繕や機器の更新時期を迎えているため、引き続き利用者の安全・安心の確保と快適な道路環境を提供し、有料道路の利用促進を図るため、施設の計画的な更新及び適切な維持管理に努める。

— <具体的な取組> —

- ① 適時、適切な道路パトロールの実施
- ② 舗装補修、施設、設備等の更新に必要な財源を長期的に確保し、計画的な工事の実施
- ③ 道路施設の維持管理、道路清掃及び雪氷対策等の適切な実施

(2) 災害時・緊急時の体制の確立

警報待機や災害発生時等に、より迅速かつ効果的な連絡体制を確保するとともに、大規模な災害等の発生時から速やかな業務の復旧に対応するため、事業継続計画（BCP）による、公社・維持管理事業受託者と連携した体制づくりに努める。

— <具体的な取組> —

- ① 緊急時における連絡体制、警報待機体制の確立
- ② 「福島県道路公社新型コロナウイルス感染拡大対策ガイドライン」に基づく公社・維持管理事業受託者の感染症対策の実施
- ③ 国、福島県等の道路管理者との情報共有化の実施

3 適切な入札制度・契約制度の実施

(1) 入札方式等の継続実施

道路維持管理業務実施体制の確保と入札事務の軽減を図るため、「一括契約・共同受注方式」及び「公募型プロポーザル方式」による入札を実施するとともに、業務委託期間の複数年契約を継続して実施する。

— <具体的な取組> —

- ① 一括契約・共同受注方式、公募型プロポーザル方式による入札の継続実施
- ② 道路維持管理業務委託の複数年契約の継続実施

II 有料駐車場事業

1 既存駐車場の利用促進

駐車場の良好な環境を確保するため適切な維持管理を実施し、空き情報の提供等による新たな利用者の確保に努め、稼働率を高める。

— <具体的な取組> —

- ① 現地看板やホームページを活用した空き情報等の提供
- ② 定期巡視による施設の適切な維持管理の実施
- ③ 照明設備、フェンス等、経年劣化に伴う施設補修の実施
- ④ 除草、清掃作業の実施による駐車場環境の確保

Ⅲ 道路管理受託事業

1 あぶくま高原道路管理受託事業

県の委託契約に基づき、利用者の安全・安心の確保と快適な利用を促進するため、有料道路と一体的な維持管理に努める。

＜具体的な取組＞

- ① 有料道路と密接に関連する県管理道路のパトロール、補修、清掃、除雪等の実施
- ② 県道路管理者との情報共有化の実施

Ⅳ 経営の効率化

1 組織の効率的運営

現体制により、有料道路等の適切な維持管理と効率的な運営に努める。

＜具体的な取組＞

- ① 定年退職プロパー職員等の人材の活用
- ② 職員の研修会等への積極的な派遣による意欲向上と活性化の促進

2 管理経費の縮減

管理経費の執行に当たっては、常にコスト意識と経費の節減に努め、一層の経費の縮減を図る。

＜具体的な取組＞

- ① 省資源・経費節減に向けた職員の意識向上のための「エコオフィス自己評価」の継続実施
- ② ノー残業デー、リフレッシュデーの徹底等による超過勤務手当の縮減

3 法令の遵守

職員の適正な事務執行及び各種法令遵守に関する職員の意識の向上を図るとともに、情報セキュリティ対策や情報管理の徹底、新型コロナウイルス感染症等の感染防止対策の徹底を図る。

＜具体的な取組＞

- ① 適正な事務執行と各種法令遵守等に関する職員研修等による意識の向上
- ② 個人情報の流出やホームページ等の情報セキュリティ対策の徹底
- ③ 入札事務や料金收受監督業務における情報管理の徹底
- ④ 新型コロナウイルス感染症等の感染防止基本対策の徹底

事業収支計画

(単位:千円、指数:%)

科目	年度	令和3年度(補正)		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		計画額	指数	計画額	指数	計画額	指数	計画額	指数
当期収入(A)	道路料金収入	155,058	100.0	128,199	82.7	176,200	113.6	178,000	114.8
	福島空港道路	155,058	100.0	128,199	82.7	176,200	113.6	178,000	114.8
	駐車場料金収入	22,446		23,002	102.5	23,002	102.5	23,002	102.5
	業務雑収入	175	-	65	37.1	0.0	-	0.0	-
	受託業務収入	165,018	100.0	167,344	101.4	167,344	101.4	167,344	101.4
	業務外収入	30,000	100.0	30,000	100.0	30,065	100.2	30,065	100.2
	収入計	372,697	100.0	348,610	93.5	396,611	106.4	398,411	106.9
当期費用(B)	維持改良費	68,852	100.0	56,304	81.8	112,094	162.8	48,194	70.0
	福島空港道路	68,852	100.0	56,304	81.8	112,094	162.8	48,194	70.0
	道路管理費	58,006	100.0	49,135	84.7	49,135	84.7	49,135	84.7
	福島空港道路	58,006	100.0	49,135	84.7	49,135	84.7	49,135	84.7
	駐車場管理費	10,568	100.0	9,260	87.6	9,260	87.6	9,260	87.6
	一般管理費	32,354	100.0	36,080	111.5	36,080	111.5	36,080	111.5
	業務外費用(利息等)	30,048	100.0	30,048	100.0	30,048	100.0	30,048	100.0
	受託業務費	165,018	100.0	167,344	101.4	167,344	101.4	167,344	101.4
	支出計	364,846	100.0	348,171	95.4	403,961	110.7	340,061	93.2
収支差(C=A-B)	7,851	100.0	439	5.6	△ 7,350	△ 93.6	58,350	743.2	
県償還金(建設資金)(D)	1,722	100.0	439	25.5	21,058	1,222.9	33,300	1,933.8	
前期繰越金(E)	22,279	100.0	28,408	127.5	28,408	127.5	0	0.0	
次期繰越金(C-D-E)	28,408	100.0	28,408	100.0	0	0.0	25,050	88.2	

※ 指数については、令和3年度(補正)を基準として表示。

※ 令和4年度の計画額は、当初予算額を計上。

※ あぶくま高原道路管理受託事業については、受託業務収入・受託業務費に計上。

※ 業務外収入及び業務外費用には、それぞれ福島県からの運転資金3,000万円を含む。

※ 令和5年度の維持改良費に施設・設備等更新費用として、舗装補修費工事費63,000千円を計上。

年度末長期債務残高内訳書

		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
長期債務額(出資金含)		2,839,495	100.0	2,839,056	99.9	2,817,998	99.2	2,784,698	98.0
内訳	建設資金								
	政府等借入金	0	100.0	0	100.0	0	100.0	0	100.0
	福島県出資金	790,000	100.0	790,000	100.0	790,000	100.0	790,000	100.0
収支差借入金		2,049,495	100.0	2,049,056	99.9	2,027,998	98.9	1,994,698	97.3

※ 無料開放処理に関する予算は計上していない。